

JSCA関西H28年度視察研修 研修録
(11月11日～12日)



株式会社
塚越 治夫

■はじめに

昨年は兵庫県淡路島を訪れる視察研修を実施しましたが、今年は「東海地方で伝統技術と先端技術を学ぶ」と題して、施工中の建物の現場や名古屋大学減災館、明治村の見学等を行いました。またJSCA中部支部との交流も図りました。参加者は合計32名で、昨年より多くの方に参加をいただきました。私は視察研修を企画した事業委員会のメンバーの1人ですが、天候にも恵まれ、私自身も大いに楽しみ、学ぶことのできた研修となりました。

■1日目

1日目は大阪駅近くの大阪モード学園前に集合し、バスで名古屋方面に向かいました。1日目のスケジュールは、
①津市産業スポーツセンターの現場見学
②名古屋大学減災館の見学
③名古屋市内の建物見学
④ホテルにて懇親会
となっています。

津市産業スポーツセンターは、来年10月オープン予定のスポーツ&コンベンション施設です。既設の展示場施設の隣に、大小2つのアリーナと屋内プール、柔剣道場等を新たに整備するもので、建物の愛称は、津市出身のレスリング選手・吉田沙保里さんから取って「サオリーナ」と命名されています。現場は躯体工事から仕上げ工事に移る段階で、メインアリーナの屋根トラス梁（スパン約37m）やそれを支える柱脚などを間近に見学することができました。



メインアリーナ内部



屋根トラス梁の柱脚部

バスの中で昼食を済ませ、名古屋大学減災館に向かいました。減災館は免震構造の建物で、最初に名古屋大学教授・福和先生の講義「本音トーク」を伺い、その後先生ご自身のご説明で施設を案内していただきました。講義では過去の歴史地震から得られた防災上の教訓や熊本地震で観測された地震記録や被害の話、建物の地震入力のお考えなどを、映画「シン・ゴジラ」の話なども交えながら、分かりやすく説明していただきました。「ベースシアって一言でいうと何？」など、時々出される質問に、???となってしまったのは私だけでしょうか？減災館の屋上にある減災・体感実験室は、アクチュエータで加振することができる施設で、我々も実際に長周期地震動の揺れを体験することができました。



減災館での震動体験

市内見学をして、宿泊先である名鉄犬山ホテルに到着。温泉で汗を流した後はJSCA中部支部の方々にもご参加いただき、懇親会を開催しました。今年も日本設

計・上森さん厳選の名(迷?)クイズで大いに盛り上がりました。

■2日目

2日目のスケジュールは、
⑤国宝犬山城、日本庭園有楽苑の散策
⑥博物館明治村の見学
です。明治村は昭和40年にオープンした明治・大正期の有名建造物等を移築保存している野外博物館で、現在は広大な敷地の中に合計68件の建造物があります。当日は施設の方に代表的な建物を案内していただきました。そのうちのひとつ「帝国ホテル中央玄関」では、代表的な材料が、すだれレンガ、大谷石、テラコッタであり、それらをどのような考え方で保存・復元しているかについて丁寧に解説していただきました。建物移築にあたっては、その時点での基準法に適合させる必要があり、現在は耐震補強も意識しながら維持保存をしているとのこと。過去に来館経験がある参加者から「新たな発見があった」や、別の方から「また来てゆっくり見たい」などの感想をいただけたことが印象的で、うれしく感じました。



帝国ホテル中央玄関の内部

■おわりに

今回の企画にあたっては、中部支部の方に大変お世話になりました。ありがとうございました。来年は今年以上に幅広い年代の方に参加いただけるよう、より充実した視察を考えたいと思います。



宿泊ホテルの前で集合写真